

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人

草加市社会福祉事業団



目 次

総 括	・・・・・・・・	1 頁
事 務 局	・・・・・・・・	4 頁
草加市立養護老人ホーム松楽苑	・・・・・・・・	10 頁
草加市障害福祉サービス事業所つばさの森	・・・・・・・・	16 頁
草加市総合福祉センターであいの森	・・・・・・・・	22 頁
草加市在宅福祉センターきくの里	・・・・・・・・	36 頁
草加市高年者福祉センターふれあいの里	・・・・・・・・	46 頁
草加市障害者グループホームひまわりの郷	・・・・・・・・	53 頁
障害者総合支援センター	・・・・・・・・	57 頁
生活介護事業所そよかぜの森	・・・・・・・・	65 頁



総 括

令和5年度に策定した中期経営基本計画の初年度として中長期的なビジョンを見据え社会福祉事業の担い手として地域における中核的かつ先駆的な役割を果たすため、草加市や各関係機関と連携し利用者本位の福祉サービスの提供や地域共生社会の実現に努めました。

当事業団の主要資源である「人財」を最大限に有効活用するため、草加市や各施設・事業所において利用者ニーズを把握し、より安心・安全な福祉サービスの提供が可能となるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和5年度の主な取組としては、つばさの森は生活介護事業を、きくの里は今後の高年者の動向を踏まえた介護予防拠点、認知症高年者に関わる事業を開始し、複雑化・多様化する利用者ニーズに合わせた福祉サービスの提供に努めました。

I 安心・安全な専門性の高いサービス

草加市や草加市社会福祉ネットワーク、その他関係機関との連携を強化し、各事業についても指定管理者や業務の受託者としての自覚と責任を持って安心・安全な運営を行う中、より良いサービスの提供と信頼される施設と事業の運営を図るため、職員一丸となって経営の改善及びサービスの充実向上に努めました。

防災対策として、大規模災害等の発生時に適切な避難等が行えるよう、草加市及び社会福祉ネットワーク加入法人等と連携し、福祉避難所訓練・研修を企画、実施し、有事の際の草加市や関係機関等の連携強化に努めました。

II 地域との共生

地域共生社会の実現に向けて、地域包括支援センターや基幹相談支援センターなどの専門的な相談窓口だけではなく、施設に来館された利用者やご家族の様子や状態に応じ対応しました。きくの里では、来館者への総合相談を新たに実施するなど、地域で暮らしやすい環境づくりに努めました。

III 経営基盤の確立について

安定した経営を実現するために、公募型見積合わせ及び一般競争入札を実施し、広く参加業者を募ることで経費節減に努めました。

利用者ニーズの多様化に対応するため、研修等により職員のスキルアップを行い、加算による増収に努めました。

IV 経営の透明性の確保と継続的な改善

法人経営の透明性を確保するうえで、顧問税理士、社会保険労務士、労働基準監督署、草加市福祉部局等に適宜相談し、内部統制機能を強化し、健全な事業

運営や適正な財務諸表の作成に努めました。

また、ホームページやフェイスブック等では、よりわかりやすく伝わる工夫として施設紹介動画を取り入れ、事業団の広報誌は、事業団初となる草加市内全戸配布を実施するなど、広報活動を強化しました。

V 人材の確保・育成について

人材の確保については、不足する福祉人材を確保するため、職員紹介制度及び職場体験会を新たに実施するとともに、草加市社会福祉ネットワークにおいて合同就職面接会を開催し、採用に繋げることができました。

また、人材の育成面についても、事業団主催の新人職員研修や他機関が開催する外部研修（オンライン研修含む）などを積極的に取り入れ職員の意識改革や資質の向上を図りました。

VI 安全対策について

草加市や関係機関等と連携し、福祉避難所としての役割を再確認するとともに、非常災害対策計画をもとに、有事に職員が適切な行動がとれるよう防災対策を図りました。

また、災害時に備え、避難確保計画のもと職員による避難経路の安全点検や取り組む業務の明確化を図るとともに、利用者を含めた定期的な避難訓練等を行い、職員の危機管理意識と災害対応スキル向上に努めました。

組織一覧

(単位：人)

組 織 名	所 在 地	開設年度	入所定数	職員数
事 務 局	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	昭和 6 3 年	—	5 (5)
養 護 老 人 ホ ー ム 松 楽 苑	草加市柿木町 1 8 8 番地	昭和 5 1 年	5 0	9 (11)
障害福祉サービス事業所つばさの森	草加市柿木町 1 1 0 5 番地 2	平成元年	8 0	9 (13)
総合福祉センターであいの森	草加市柿木町 2 6 1 番地 1	平成 4 年	—	8 (18)
在 宅 福 祉 セ ン タ ー き く の 里	草加市谷塚上町 7 0 4 番地 3	平成 1 3 年	—	14 (3)
	草加市瀬崎 五丁目 2 0 番 1 6 号			
高年者福祉センターふれあいの里	草加市新里町 1 0 6 番地 6	平成 1 7 年	—	4 (3)
障害者グループホームひまわりの郷	草加市柿木町 1 1 0 4 番地	平成 2 2 年	3 0	9 (21)
障害者総合支援センター	草加市栄町二丁目 1 番 3 2 号 ストーク草加式番館 1 階	平成 2 2 年	—	8 (8)
生活介護事業所そよかぜの森	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	平成 2 9 年	4 0	12 (14)
※ 職員数については、令和 6 年 3 月 31 日現在			合 計	78
※ () 内は、契約職員及び臨時職員の数で外書き				(96)

事 務 局

I 概要

事務局は、各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和5年度は、事業団の施設概要や活動内容、採用情報などを草加市民や関係機関に広く周知するため、広報誌の発行のうち1回を事業団初の草加市内全戸配布を実施し、多くの反響をいただくことができました。

また、不足する福祉人材を確保するため、職員紹介制度の導入や職場体験会を実施し、安定的かつ持続的な事業運営に努めました。

1 評議員会、理事会及び監査

事業計画、予算、事業報告及び決算のほか、法人運営上重要な事項については、評議員会及び理事会を適宜開催し、審議の上、原案どおり議決を得ました。

また、業務執行の状況及び財産の状況（会計経理）の適正を期するため、監事監査を実施しました。

2 効率的、効果的な経営の推進

経営会議を定期的で開催し、各施設の事業において、様々な課題等を会議の場で共有し、解決に向けた議論をすることで、適正かつ効率的な事業の運営に努めました。

また、人事評価制度を活用し、各施設との綿密な連携の下、職員の資質やモチベーションの向上を図りました。

3 職員研修

事業団の即戦力として活躍が期待される新人職員を対象に内部研修を実施するとともに、他機関が開催する外部研修をオンライン形式含め、積極的に参加しました。

また、草加市社会福祉ネットワークの事務局として、研修を企画・実施し、各種研修を通じて職員の意識改革と資質の向上に努めるとともに、利用者が安心して利用できる施設サービスの充実・向上に努めました。

II 評議員、役員及び評議員選任・解任委員一覧表

1 評議員

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
評議員	齋藤 幸子	ボランティア草加連絡協議会
評議員	今野 禎雄	草加市健康福祉部（副部長）
評議員	清田 幸子	草加市民生委員・児童委員協議会
評議員	猪俣 裕嗣	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	森 永 功	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	栗原 浩	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 そうか光生園
評議員	浅古 臣男	学識経験者（事業団OB）
評議員	佐々木 一男	草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森保護者会
評議員	大矢 浩子	草加地区保護司会
評議員	岡田 卓也	公益社団法人草加市シルバー人材センター

任期：令和3年(2021年)6月21日から令和7年(2025年)定時評議員会まで

2 役員（理事及び監事）

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
理事長	瀬戸 百合子	草加市長
副理事長	坂田 幸夫	草加市健康福祉部（部長）
常務理事	下国 季樹	学識経験者
理事	浅見 宗久	学識経験者
理事	関島 和子	草加市身体障害者福祉協会
理事	秋山 恵美子	社会福祉法人光陽会
理事	深井 薫	施設長
理事	星野 勇治	草加市民生委員・児童委員協議会
理事	山崎 修	草加商工会議所
監事	武田 康成	税理士
監事	青木 喬	地域福祉関係者

任期：令和3年(2022年)6月21日から令和5年(2023年)定時評議員会まで

評議員選任・解任委員

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	選任基準
委員長	青木 喬	監事
委員	金子 敏和	外部委員
委員	竹城 満博	事務局員

任期：令和3年(2021年)6月21日から令和5年(2023年)定時評議員会まで

Ⅲ 評議員会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり評議員会を開催しました。

1 令和5年度定時評議員会

- (1) 日時 令和5年6月23日(金)午後3時
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員6人、監事1人
- (4) 議決事項
 - ① (報告) 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算(監事監査報告を含む)
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団役員の選任につき評議員会の議決を求めることについて

2 令和5年度第2回評議員会

- (1) 日時 令和6年3月28日(木)
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員9人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事の選任につき評議員会の議決を求めることについて

IV 理事会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり理事会を開催しました。

1 令和5年度第1回理事会

- (1) 日 時 令和5年5月25日（木）午前10時30分
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和4年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団役員選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
 - ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定時評議員会の招集について

2 令和5年度第2回理事会

- (1) 日 時 令和5年6月23日（金）午後4時30分
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事9人、監事1人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事長の選定につき理事会の議決を求めることについて
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団副理事長等の選定につき理事会の議決を求めることについて
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任・解任委員の選任につき理事会の同意を求めることについて
 - ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団サービス向上委員（第三者委員）の委嘱につき理事会の同意を求めることについて

3 令和5年度第3回理事会

(1) 日 時 令和6年3月28日(木)午後1時30分

(2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森

(3) 出席者 理事9人、監事1人

(4) 議決事項

- ① 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業資金収支補正予算(第1号)
- ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
- ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団経理規程の一部を改正する規程の制定について
- ④ 令和6年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業計画
- ⑤ 令和6年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業資金収支予算
- ⑥ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団役員等のために締結される保険契約内容の承認について
- ⑦ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
- ⑧ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団就業規則の一部を改正する規則の制定について
- ⑨ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
- ⑩ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会の招集について
- ⑪ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
- ⑫ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
- ⑬ 施設長の任免につき議決を求めることについて
- ⑭ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の招集について

V 評議員選任・解任委員会

評議員を選任するため、次のとおり評議員選任・解任委員会を開催しました。

1 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会

(1) 日 時 令和6年3月29日(金)午後1時30分

(2) 場 所 生活介護事業所そよかぜの森

(3) 出席者 委員3人

(4) 議決事項

- ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員の選任につき議決を求めることについて

草加市立養護老人ホーム松楽苑

I 養護老人ホーム事業

1 生活援助

入所者一人ひとりのニーズや心身の状況等により処遇計画を立案し、その計画に基づき、介護保険サービス等の外部サービスを利用するなど、安心・安全に配慮した日常生活を営むことができるよう適切な支援を提供しました。

季節ごとの行事を通じて、四季を感じることで生活の質を高めるとともに、月1回の歌の教室や習字など外部から講師を招き、心身ともにすこやかに過ごすことができるように支援しました。また、レクリエーションやクラブ活動を通じて、入所者間のコミュニケーションを促進しました。

2 相談・助言

入所者の生活における相談や助言、金銭管理、各種申請代行等を行い、安心して生活が送れるよう支援を行いました。

3 健康管理

1日に2回、体操・ストレッチを実施する他、外部から講師を招き、3B体操やストレッチ体操を実施することにより、体力・健康の維持を図りました。また、口腔ケアを促すことで健康の増進に結びました。

嘱託医による毎月の定期診療や年2回の健康診断、肺がん検診、各種予防接種を実施しました。看護師による健康相談・血圧測定・体重測定・健康チェック並びに他職種との連携から、入所者の体調の変化、さらに精神的な変化に対する早期対応を行うとともに、専門的な関係機関に繋げ、疾病の早期発見、早期治療に努めました。

4 衛生管理

食堂や施設内共有部分の消毒を1日2回以上実施し、定期的な換気、加湿（冬季）を行い感染症等の防止に努めました。また、入所者及び職員に対し手洗いやうがい、手指消毒など基本的な感染対策を励行し、感染症や食中毒の予防に努めました。

万一、感染症や食中毒が発生した場合には、松楽苑感染症マニュアルに沿って、嘱託医や保健所等の指導のもと、適切な処置をし、感染拡大を防ぎました。

5 食事

栄養士による栄養管理の下で、季節の食材を取り入れ、素材の味を活かした食事の提供を心がけたことで、食事の楽しみを最大限に感じていただけるようになりました。

さらに、食事形態や食事制限のある入所者でも楽しめるように、必要に応じて個別に対応しました。また、入所者の意見や嗜好の聞き取りを参考に、希望に沿った献立を提供し、食事内容の充実を図りました。

6 一時入所

草加市からの依頼により、基本的な生活習慣が身につけていない方や対人関係が成立していない方など、社会適応が困難な高齢者の一時的な宿泊を受け入れ、生活習慣の指導・支援・栄養管理を行うとともに、健康状態を把握しました。また、一時入所が終了しても安心して地域で生活が送れるように、関係機関と協力していきました。

7 家族・身元引受人及び地域との交流

入所者の日々の様子や体調など、ご家族や身元引受人への連絡・報告を適宜実施し、ご家族との交流の機会を確保するほか、年2回発行する「苑だより」において入所者の生活の様子をお知らせしました。地域の方々にも事業内容を広く理解してもらえよう、行事の内容や日々の生活の様子、近況報告などの情報をSNSなどを通じてお知らせしました。

8 防災計画及び事業継続計画

大規模な地震や水害、感染症などにより、事業の運営が危機的状況下に置かれた場合でも、事業の運営が困難にならないように、日々変化を遂げる現状を把握し、実現可能な防災計画、事業継続計画の見直しを適宜行い、各職員への周知徹底を図りました。

II 訪問介護事業

1 身体介護

意欲向上を踏まえた自立支援を目的として、より安全で安心した生活が継続できるように、食事、排泄、入浴、口腔ケアなどの日常生活動作全般における介護及び見守りを行いました。

また、細やかなコミュニケーションをとりながら、利用者の心の充実と安定に努めました。

2 生活援助

居室の清掃、衣類及びリネンの洗濯や日用品の整理等、必要に応じた日常生活の援助を行いながら、生活等に関する相談・助言を行いました。

また、衛生面にも配慮したサービスの提供を行いました。

(松 楽 苑)

(1) 入・退所者の状況

(単位：人)

定員	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
50	入所者	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4
	在所者	24	25	25	24	24	24	25	25	25	25	25	22	

※前年度末在所者 24人 令和5年度年間利用者延べ人数 8,975人

(2) 措置機関別在所者状況 (令和6年3月31日現在)

(単位：人)

措置機関名	人数
草加市福祉事務所	20
川口市福祉事務所	1

措置機関名	人数
足立区福祉事務所	1
合計	22

(3) 年齢分布表 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

性別	年齢	61歳	66歳	71歳	76歳	81歳	86歳	91歳	96歳	合計	平均年齢
	～	～	～	～	～	～	～	～			
		65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳		
男性		0	1	2	3	2	1	0	0	9	78.7歳
女性		0	0	1	2	8	2	0	0	13	81.9歳
合計		0	1	3	5	10	3	0	0	22	80.5歳

最少年齢 = 70歳 最高年齢 = 87歳

(4) サービスの提供状況（特定施設入居者生活介護）

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	1	2	2	1	9
5月	3	1	2	2	1	9
6月	3	0	2	2	2	9
7月	1	1	3	2	2	9
8月	1	1	3	2	2	9
9月	1	1	3	2	2	9
10月	1	1	3	2	2	9
11月	1	1	3	2	2	9
12月	1	1	3	2	2	9
1月	1	1	3	2	2	9
2月	1	1	3	3	2	10
3月	1	1	3	3	1	9
合計	18	11	33	26	21	109

(5) 一時入所

（単位：人・日）

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (延べ)
利用者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	3	9
利用日数	30	0	0	0	0	0	0	0	12	44	58	61	205

(6) クラブ活動

内 容	実 施 日	指 導 者	回数	構 成 員
3B体操	毎週月曜日	増村様・篠田様	37	全 員
ストレッチ体操	月1回	岩田様	12	全 員
歌の教室	月1回	河内様	12	全 員
レクリエーション	毎週水曜日	担当職員	32	全 員
ビデオ鑑賞	毎週木曜日	担当職員	29	全 員

(7) 各種行事

実 施 日	行 事 名
6月1日	開苑記念行事
8月2日	夏祭り
8月8日、16日	盆供養（迎え火・送り火）
9月15日	敬老会
11月8日、9日、15日	お楽しみ外出
12月22日	クリスマス会
12月26日	ケーキバイキング
1月27日	新年会
1月31日	初詣
2月2日	節分
3月27日	花見昼食会
7月（4回）・11月（6回） 12月（1回）・2月（1回） 3月（2回）	食事会
6月（3回）・10月（2回） 2月（2回）・3月（1回）	買物外出
毎月実施	誕生者イベント

(8) ボランティア受入状況

(単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
習字	12日	12人
ハーモニカ慰問	6日	30人
ボーイスカウト慰問	1日	10人
ラーメン慰問	1日	5人
そば慰問	1日	3人

(訪問介護事業所)

(1) サービスの実施状況 令和5年度年間利用者延べ回数 5, 232回

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月利用実人数	3	1	2	2	1	9
4月訪問回数(合計)	83	38	108	119	38	386
5月利用実人数	3	1	2	2	1	9
5月訪問回数(合計)	105	38	114	124	39	420
6月利用実人数	3	0	2	2	2	9
6月訪問回数(合計)	94	0	113	130	90	427
7月利用実人数	1	1	3	2	2	9
7月訪問回数(合計)	22	28	166	124	79	419
8月利用実人数	1	1	3	2	2	9
8月訪問回数(合計)	28	27	170	123	89	437
9月利用実人数	1	1	3	2	2	9
9月訪問回数(合計)	23	25	161	119	89	417
10月利用実人数	1	1	3	2	2	9
10月訪問回数(合計)	32	37	168	117	84	438
11月利用実人数	1	1	3	2	2	9
11月訪問回数(合計)	48	38	165	121	92	464
12月利用実人数	1	1	3	2	2	9
12月訪問回数(合計)	55	37	168	142	99	501
1月利用実人数	1	1	3	2	2	9
1月訪問回数(合計)	48	4	160	128	99	439
2月利用実人数	1	1	3	3	2	10
2月訪問回数(合計)	48	9	148	160	78	443
3月利用実人数	1	1	3	3	1	9
3月訪問回数(合計)	53	55	145	145	43	441
年間利用実人数	18	11	33	26	21	109
年間訪問回数(合計)	639	336	1786	1552	919	5232

草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森

I 生活介護事業

1 日中活動

DVDを使用した健康体操、ボッチャ、卓球、つばさの森のグラウンドでのウォーキングやグラウンドゴルフ、季節の創作、文字の読み書き、簡単な計算、ゲーム等様々な活動を行いました。曜日ごとにプログラムを決める事で、見通しをもって1週間過ごせるよう努めました。また、外出支援として、越谷レイクタウンでの食事や買い物、せんべい焼き体験、ボウリングを実施し、自信や達成感を得られるよう取り組みました。

2 生産活動

利用者一人ひとりの能力や特性、心身の状況に応じて作業内容や環境を工夫し、働く習慣と態度を身に付けられるよう支援しました。また、毎月工賃を支給することにより、働く喜びを得られるよう支援しました。

3 健康管理

看護師による、毎日のバイタル測定等の健康観察と、月に1回の嘱託医による診察を行う事により利用者の健康状態を把握し、日中活動を安全に行えるよう努め、体調に変化があればご家族等に情報共有をしました。また、日々の口腔体操、全身運動、スポーツ、個別の運動を行う事で心身機能の維持・向上を図り、介護予防に努めました。

4 送迎サービス

リフト付きバス等で、草加市内のご自宅まで安全な送迎サービスを行いました。

II 就労継続支援B型事業

1 生産活動

既存の受注先の受注量は、コロナ禍以前の状態よりも大幅に増え、かつ、受注先を新規開拓したことにより、安定した作業収入の確保と作業提供をすることができました。

また、利用者が様々な作業を習得できるように、利用者一人ひとりの能力や特性に応じて作業内容・作業環境を工夫し、それとともに利用者が働く習慣と態度を身に付けることができるよう支援しました。

2 施設外作業

施設外での作業を行い、安定した作業収入の確保を図りました。また、施設とは違った環境と体制の中で作業を行うことで、作業意欲の向上に繋がるよう支援しました。

3 就労への移行

利用者本人、その保護者が就労を希望し、かつ、就労可能と見込まれる方に対し、訓練プログラムの実施、求職活動支援、職場実習支援等を行いました。

また、就労者に対し、就労後も安定した就労が持続するよう職場定着支援を行い

ました。

4 生活支援

自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援しました。

5 健康管理

毎日、朝の会の後にラジオ体操・ウォーキングを実施する他、月に2回ずつ3B体操と空手体操を実施し、利用者の健康増進や身体機能の維持を図りました。

また、年に1回、健康診断を実施し、利用者の健康状態を把握するとともに、その結果をご家族等へ報告し、情報の共有を図りました。

6 送迎サービス

利用者やご家族等の高齢化に伴い、自主通所が困難になった利用者に対し、安心、安全に通所できるよう、リフト付きバス等でスポット送迎を行いました。

III 相談援助

利用者やご家族等の状況の変化に合わせて個別の相談を受け、必要に応じて障がい福祉課や相談支援事業所等と連携を図りながら、利用者の支援内容の見直しや環境の調整を行いました。

また、年1回の個人面談や、毎月の保護者会来所時に、利用者やご家族等の意見・意向を聞き取り、サービスの向上に結びました。

IV 食事の提供

管理栄養士による栄養管理の下、旬の食材を取り入れた献立の提供や、利用者の疾患や身体状況に応じ、粥食、キザミ食、アレルギーや好き嫌いに至るまできめ細やかに個別対応を行いました。

また、季節に合わせた行事食、バイキング給食、二十歳のお祝い膳、誕生日給食やセレクトメニューを提供し、利用者が食事を楽しめる工夫をしました。

V 地域交流

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した事により、市内のイベントが復活し始めたため、ふささらまつりや商工会議所まつりなど、様々なイベント販売に参加しました。

また、獨協大学生の力を借りながら、雄飛祭や学内での販売、パンフレットのリニューアルなど、様々なコラボにより学生との交流を深めました。

また、マスクの着用や消毒の実施等、一定の感染症対策を講じながら、可能な限り見学者や実習生等を受入れ、地域に開かれた施設運営に努めました。

(生活介護事業・就労継続支援B型事業)

(1) 介護給付費・訓練等給付費支給市町別の利用者状況(令和6年3月31日現在)

(単位：人)

支給市町村名	生活介護事業	就労継続支援B型事業
草加市	12	39
越谷市	1	11
松伏町	0	1
吉川市	0	1
合計	13	52

(2) 入退所の状況

①生活介護事業

(単位：人)

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
16	入所者	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	退所者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	在所者	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	

令和5年度年間利用者延べ人数 3,016人

令和5年度年間利用者実人数 14人

②就労継続支援B型事業

(単位：人)

定員	月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
64	入所者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	退所者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	在所者	53	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	

令和5年度年間利用者延べ人数 11,258人

令和5年度年間利用者実人数 53人

(3) 年齢別分布表(令和6年3月31日現在)

①生活介護事業

(単位：人)

性別	年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳			
	18歳								
	19歳								
	20歳								
	29歳								
	39歳								
	49歳								
	59歳								
男性	0歳	0	0	0	1	5	1	7	55.8歳
女性	0歳	0	0	1	1	3	1	6	52.1歳
合計	0歳	0	0	1	2	8	2	13	54.1歳

※ 最少年齢 32歳 最高年齢 71歳

②就労継続支援B型事業

(単位：人)

年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
性別	19	29	39	49	59		合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳			
男性	0	10	9	5	10	2	36	40.3歳
女性	0	2	6	2	4	2	16	43.1歳
合計	0	12	15	7	14	4	52	41.2歳

※ 最少年齢 20 歳 最高年齢 72 歳

(4) 職場実習等

事業者名	人数	作業内容
リクルートスタッフィングクラフツ	1	紙すき作業、コーヒー豆選別等
ウエルシアオアシス	1	社内連絡便作業等
長谷川製作所	1	お守り奉製、ピッキング等
埼玉県教育局 チームぴかぴか	1	事務補助等

(5) 就職先

事業者名	人数	作業内容
リクルートスタッフィングクラフツ	1	紙すき作業、コーヒー豆選別等

(6) 加工事業

業者名	作業品目
(資)釜屋商店	お灸の筒の組み立て、お灸のサンプル組み立て等
(株)日本化学産業	建築用部品の加工
(株)ゴークラ	色画用紙・ケント紙の袋入れ、シール貼り等
(株)イワコー	消しゴムの組立
(株)ワタナベ	箱折り
(合)Lead Block	銀のさら 宅配用お箸セット作成
草加市上下水道部	使用済水道メーターの分解
森紙器(株)	箱折り
更新(株)	防塵マスク用ゴム紐の部品取り付け等
(株)アークス	チラシ封入、チラシ折り
(株)長谷川製作所	おみくじの作成
(有)公平紙巧	バリ取り、仕切り組み立て

(7) 受託事業

業者名	作業品目
SBS三愛ロジスティクス(株)	段ボール組み立て、段ボール潰し
草加市都市整備部みどり公園課	公園の清掃
草加市障がい福祉課	訓練農場跡地の草刈り

(8) 販売事業

作業名	生産品目
印刷	名刺、年賀状、チラシ、封筒等
農作業	柿、夏みかん等
菓 菓	各種マドレーヌ、小松菜マフィン、彩のマカローヌ等
自動販売機	自動販売機の管理

(9) 年間作業収入 (単位：円)

加工事業収入	受託事業収入	販売事業収入	収入合計
5,185,635	5,618,903	13,021,414	23,825,952

(10) 工賃支給額 (単位：円)

支給日	生活介護事業		就労継続支援B型事業			
	支給者数	支給額	支給者数	平均利用者数	支給額	平均工賃
4/25	14人	519,700	52人	48.8人	1,855,100	38,015
5/25	14人	56,700	53人	48.5人	688,200	14,190
6/25	14人	55,100	53人	47.5人	1,010,662	21,278
7/25	14人	60,500	52人	41.5人	715,200	17,234
8/25	14人	66,700	49人	43.1人	817,800	18,975
9/25	14人	99,000	52人	46.2人	1,215,200	26,304
10/25	13人	84,200	51人	46.5人	1,075,400	23,127
11/25	13人	65,300	51人	46.6人	821,100	17,621
12/25	13人	91,800	51人	46.7人	1,539,978	32,976
1/25	13人	109,500	50人	46.7人	1,378,800	29,525
2/25	13人	62,600	52人	46.4人	798,800	17,216
3/25	13人	112,500	52人	47.3人	1,464,100	30,954
年間	162人	1,383,600	618人	555.8人	13,380,340	24,074

(11) 年間行事

実 施 日	行 事 名
6月8・9日	つばさの森保護者会研修旅行
6月27日	防災訓練
6月30日	バイキング給食
9月15日	つばさの森感謝祭～すまいるフォーユー～
11月27日	健康診断
11月28日	そば商組合交流会
12月15日	お楽しみ会（クリスマス会）
1月 5日	二十歳を祝う会・お祝いご膳給食
1月26日	防災訓練
3月 9日	つばさの森保護者会日帰りバス旅行
3月15日	お楽しみ会

(12) クラブ活動

クラブ名	内 容
鑑賞	利用者の好みに合わせたDVD鑑賞を行いました。
ダンス	音楽に合わせて皆でダンスをしました。9月のつばさの森感謝祭～すまいるフォーユー～や、3月のお楽しみ会でステージ発表を行い、ダンス練習の成果を発表しました。
芸術	お絵描き、塗り絵、ゲーム（オセロ・将棋・ブロック・ジェンガ・カードゲーム等）、音楽鑑賞など、各自の興味がある事を行いました。季節に合わせた飾りや貼り絵を、玄関前の壁に展示しました。
カラオケ・合唱	各自が歌を選び、カラオケを楽しみました。また、行事の中で歌の合唱も行いました。

(13) 特別支援学校など実習生受入状況

学 校 名	人 数
草加かがやき特別支援学校	1
社会福祉士養成課程実習	1
成人看護学実習	12
保育実習	1
高等学校初任者研修民間企業等体験研修	1
特別支援学校5年経験者研修	2
介護等体験	1

草加市総合福祉センター であいの森

I 高年者福祉センター事業

1 利用者ニーズに沿った事業の展開

高年者の健康増進及び教養の向上を目的として各種講座を開催しました。

「すまいる広場～介護予防～」 「であいの森かけはしサロン」では、利用者ニーズに沿って内容の拡充を図り実施しました。

また、「ポッチャを体験してみよう」を定期開催し、楽しみながら一定のルールを学び、12月には身体障害者福祉センターの「ポッチャ教室」の利用者と交流会を開催しました。講座では、「歩くサッカー」「パステル画」「己書」「ソフトバンクによるスマホ教室」「ファイブ・コグ」等を新たに実施し、様々な機会を提供しました。

更に、「であいの森まつり」を開催し、サークル発表会を行いました。

2 生活・健康等の各種相談の実施

心身の健康維持や疾病予防のため、専門職員が適切な相談、援助を行うことで高年者の生活を支援しました。また、新型コロナウイルスワクチン予約の支援を実施しました。

3 すこやかクラブやサークル等の団体活動の支援

すこやかクラブやサークルの代表者等との連絡を密にし、円滑かつ自主的な活動が行えるよう支援しました。

また、すこやかクラブについては、市や社会福祉協議会と連携し、各サークルについては自助・共助できる体制づくりを促進しました。

4 施設利用の促進

特色のある催し物等の開催や施設の周知に努めるとともに、より多くの方々が施設を利用できるよう、その利便性を図るため、市内主要駅周辺を基本のルートとしたマイクロバスによる送迎サービスを実施しました。

5 入浴サービス

高年者に対し、安全と衛生に配慮した入浴サービスを提供しました。

6 貸館事業の促進

市民に対し、施設・設備の利用を広く宣伝し、貸館事業の利用促進に努めました。

II 身体障害者福祉センター事業

1 更生相談

障がい者及びその家族等に対し、関係機関との連携の下、生活や就業等に関わる各種の相談に応じました。

2 機能訓練

医師の指示に基づき、専門職等が身体機能の維持・回復を目的に訓練を実施し、安全な日常生活動作の習得と社会参加の促進を図りました。

3 各種教養講座等

ボッチャ講座では、身体に障がいのある方及びその家族等を対象とし、軽度から重度の障がいのある方まで、全ての方が参加し楽しむことができる障がい者スポーツとして実施し、12月には高年者福祉センターの「ボッチャ講座」の利用者と交流会を開催しました。

また、草加市内の大会や交流会などにも積極的に参加し、同スポーツの普及と発展のため活動しました。

今年度も利用者の安全に配慮しながら、料理教室を開催しました。

4 送迎サービス

機能訓練利用者に対し、リフト付きバスにて自宅まで送迎を行いました。

また、土曜日、日曜日に講座参加等で、施設を利用する身体に障がいのある方に対して、施設最寄りの駅までの送迎を予約制にて実施しました。

5 感染症対策

手洗い・手指消毒、マスクの着用や送迎バス乗車前の検温・手指消毒、私物等（杖・車椅子）の消毒等の感染症対策を実施しながらサービスの提供に努めました。

Ⅲ 地域活動支援センター事業

1 基本サービス

(1) 創作的活動

創作的活動を通して、個々の創造力や感性を高めるとともに、協働して取り組む中で、利用者同士が互いの障がいを理解しながら、集団生活における社会性を養いました。

また、園芸・創作等の活動を通して、自然や季節を感じることにより、心の豊かさを得られるよう努めました。

(2) 機能訓練

個々の生活実践プログラムの実施により、身体機能・生活能力の維持・向上を図るとともに、日常生活の充実に繋がるよう努めました。

(3) 介護方法の指導

利用者及び家族の介護に関する相談等を受ける中で、介護方法の指導助言を行いました。

(4) 社会適応訓練

個別支援計画書に基づき、日常生活、社会生活における個々の課題を確認し、家族や関係機関等と協力しながら、個別訓練を実施しました。

(5) 更生相談

利用者及び家族等から生活や就業等に関する様々な相談に応じるとともに、必要に応じ、関係機関との連絡・調整を図りました。

(6) スポーツ・レクリエーション

高年者等のボランティアの協力を得て、安全かつ楽しくスポーツ・レクリエーションができる機会を提供することにより、体力の維持・向上を図りました。

(7) 健康指導

バイタルチェックを行うことにより、利用者の心身の健康状態を把握し、日中活動が安全に行えるよう努めるとともに、随時、健康相談を実施しました。

(8) 医療的サービス

利用者の心身の状況に応じ、看護職員による医療的な処置を行いました。

2 食事サービス

栄養士による栄養管理の下、利用者の体調や身体状況等に応じた給食やおやつを提供しました。

また、旬を感じることができる食材や行事食等を提供することにより、食を通して季節感を味わえるよう努めました。

3 送迎サービス

自主通所の難しい市内在住の利用者に対し、リフト付きバスによる送迎サービスを行いました。

4 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方を対象に、身体の衛生保持と安全な入浴方法の習得を目的とした入浴サービスを行いました。

5 特別プログラム

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、バスハイクを再開しました。

また、2・3か月ごとに課題やメンバーを変え、グループワークを実施しました。

6 感染症対策

毎日のバイタルチェック、手洗い・手指消毒、マスクの着用や送迎バス乗車前の検温・手指消毒等の感染症対策を行いました。

また、高年者福祉センターと連携をしつつ、新型コロナウイルスワクチン予約の支援を行いました。

IV 軽食喫茶事業

1 軽食喫茶

栄養バランスの取れた手作りの食事を低価格で提供することで、利用者ニーズに対応し、健康の増進及び満足度の向上に努めました。

2 販路拡大

すこやかクラブ等への弁当の受注販売やであいの森まつりでの模擬店販売（予約制）を行いました。

3 衛生管理

職員の細菌検査等の実施や手洗い等の励行により、衛生管理の徹底を図りました。

(高年者福祉センター事業)

- (1) 令和5年度年間利用者延べ人数 85,162人
 (2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9)の合計値

(2) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	121	123	116	112	98	105		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	137	116	76	82	103	107	1,296	1,114

(3) 教養講座の開催 (単位：回・人)

開催期間	講座名	受講者数	回数	出席延人数
		高年者		高年者
4月5日～3月27日	すまいる広場	20	48	816
4月17日～2月29日	ボッチャを体験してみよう	18	7	115
5月8日～7月24日	フラダンス教室	10	6	48
5月10日～3月13日	かけはしサロン	20	6	94
5月17日～7月19日	絵手紙教室	15	6	68
5月18日～7月20日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	89
5月24日	癒しの苔玉作り	9	1	9
6月6日～3月6日	たのしく分かるスマホ教室	8	7	48
7月4日～9月19日	Let's!!リズム体操	20	6	89
8月3日	歩くサッカーでゲームを体験しよう	6	1	6
8月9日～10月25日	ハンドベルを奏でよう	16	6	89
8月25日～11月10日	季節を感じよう俳句講座	12	6	63
9月14日～11月30日	水彩画を楽しく描こう	8	6	43
9月25日～12月4日	みんなで踊ろうエアロビダンス	11	8	82
10月5日～12月21日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	96
10月31日～11月13日	手芸講座～軍手で作ろう～辰～	15	2	30
12月13日	自然のもので作るリース作り	9	1	9
12月19日～3月5日	体幹を鍛えようヨガ教室	12	6	57
1月12日～3月15日	Let's!!リズム体操	20	6	99
1月22日	パステル画を描いてみよう	15	1	15
3月7日～3月14日	ファイブコグを活用しよう	10	2	18
		合計	144	1,983

(4) すこやかクラブの利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	20	16	20	16	19	15		
利用者数	241	244	226	180	200	198		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
団体数	21	17	20	12	19	18	213	220
利用者数	248	320	224	149	194	253	2,677	2,251

(5) 高齢者の送迎サービスの状況 (一般) (単位：人) (※計に含まない)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
午前便	1,064	1,175	1,017	1,017	1,016	967		
午後便	492	531	457	438	416	424		
計	1,556	1,706	1,474	1,455	1,432	1,391		
区分\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
午前便	1,111	1,082	1,033	978	701	1,099	12,260	10,186
午後便	500	474	445	413	404	536	5,530	4,684
計	1,611	1,556	1,478	1,391	1,105	1,635	17,790	14,870

(6) 浴室利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	1,792	2,003	1,763	1,702	1,742	1,688		
女	1,353	1,451	1,299	1,280	1,343	1,267		
計	3,145	3,454	3,062	2,982	3,085	2,955		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男	1,583	1,750	1,638	1,670	941	1,807	20,079	19,416
女	1,211	1,307	1,258	1,279	711	1,422	15,181	13,025
計	2,794	3,057	2,896	2,949	1,652	3,229	35,260	32,441

※修繕のため入浴サービス休止 2月12日～2月25日

(7) サークルの活動状況（令和6年3月31日現在）※活動実績のあるサークルのみ表示

サークル名	会費	活動回数	サークル名	会費	活動回数
青柳クラブ	10	42	草加ハーモニカ同好会	5	27
アカリダンスサークル	12	45	太極拳サークル	16	37
絵手紙工房	6	12	ダンス レモン	17	47
かがやき	11	24	稚心会	13	24
カサブランカ	20	44	恙なしの会	10	48
華道 千草会	6	28	にこにこ体操クラブ	35	48
ギターサークル であい	7	41	ねんどの会	8	61
杵柄会 あじさいクラブ	11	29	フレンドリーダンスサークル	19	48
杵柄会 三味線クラブ	5	23	まあがれっと	2	52
杵柄会 日本舞踊クラブ	8	37	マイ スマイル	5	9
杵柄会 民謡クラブ	12	22	マリンバ・アンサンブル'99	2	13
杵柄会 カラオケクラブ	6	27	みつぼしクラブ	13	44
琴 こでまり	5	29	メープル英会話クラブ	6	41
埼玉県スポーツウエル ネス吹矢協会	11	42	釉友くらぶ	7	49
桜草サークル	5	18	友和会	6	24
視覚障がい者 虹の会	8	21	ヨーガめぐみ	7	18
シルバーコーラス	14	23	よさこい彩女	10	45
ストレッチ体操 空	37	39	楽々会	6	12
草加ハナレイ・フラサークル	6	26	わかばの会	9	24

(8) 研修室等の利用状況

() …団体数 (単位:人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研修室1・2	(24) 269	(28) 351	(30) 312	(27) 280	(24) 270	(25) 309	
研修室3・4	(27) 302	(31) 379	(29) 321	(26) 342	(14) 121	(23) 274	
茶・華道室	(20) 148	(23) 154	(19) 111	(19) 216	(15) 88	(23) 165	
教養文化室	(67) 809	(64) 689	(59) 665	(64) 1,147	(63) 703	(54) 704	
工 房 (陶・和装)	(8) 98	(9) 96	(14) 126	(8) 124	(9) 136	(8) 136	
その他 (和装館)	(14) 128	(11) 125	(12) 219	(12) 177	(11) 137	(18) 188	
開放施設	(0) 1,790	(0) 1,956	(0) 1,655	(0) 2,135	(0) 2,064	(0) 2,080	
合 計	(160) 3,544	(166) 3,750	(163) 3,409	(156) 4,421	(136) 3,519	(151) 3,856	
月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数
研修室1・2	(24) 332	(26) 293	(23) 286	(20) 243	(26) 255	(31) 341	(308) 3,541
研修室3・4	(22) 244	(27) 350	(14) 152	(24) 332	(21) 263	(29) 378	(287) 3,458
茶・華道室	(25) 136	(26) 315	(15) 109	(15) 100	(17) 87	(15) 115	(232) 1,744
教養文化室	(43) 557	(51) 625	(42) 469	(46) 681	(51) 747	(46) 631	(650) 8,427
工 房 (陶・和装)	(9) 146	(9) 146	(8) 116	(7) 106	(8) 179	(8) 155	(105) 1,564
その他 (和装館)	(19) 316	(20) 198	(12) 161	(8) 86	(10) 117	(13) 144	(160) 1,996
開放施設	(0) 1,793	(0) 2,117	(0) 1,617	(0) 1,944	(0) 1,962	(0) 2,055	(0) 23,168
合 計	(142) 3,524	(159) 4,044	(114) 2,910	(120) 3,492	(133) 3,610	(142) 3,819	(1,742) 43,898

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	2	10	8	1	0	3	14	1	1	3	0	5	48

(身体障害者福祉センター事業)

- (1) 令和5年度年間利用者延べ人数 571人
(2) + (5) + (6)の合計値

- (2) 機能回復訓練利用状況(延べ人数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
区分	日数	8	9	9	8	10	8
利用者数	男性	15	12	17	16	20	18
	女性	4	17	15	15	12	4
	合計	19	29	32	31	32	22
1日平均利用者数		2.4	3.2	3.6	3.9	3.2	2.8
健康確認及び指導		19	29	32	31	32	22
評価		1	2	1	2	4	1
診察		3	1	3	4	2	2
介護方法の指導		3	1	3	4	2	2
更生相談		3	1	3	4	2	2
送迎	往路	19	29	32	31	32	22
	復路	17	29	32	31	32	22

月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分	日数	9	9	8	8	9	8	103
利用者数	男性	16	18	16	12	12	12	184
	女性	7	7	6	7	8	9	111
	合計	23	25	22	19	20	21	295
1日平均利用者数		2.6	2.8	2.8	2.4	2.2	2.6	2.9
健康確認及び指導		23	25	22	19	20	21	295
評価		0	0	2	0	5	2	20
診察		1	3	1	1	4	1	26
介護方法の指導		1	3	1	1	4	1	26
更生相談		1	3	1	1	4	1	26
送迎	往路	23	23	22	19	20	21	293
	復路	23	23	22	19	20	21	291

(3) 機能回復訓練登録者年齢別状況

年齢 区分	18歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	総計	平均年齢
	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳			
男	0	0	0	2	2	0	4	60歳
女	0	0	1	1	0	0	2	49歳
合計	0	0	1	3	2	0	6	56歳

(4) 嘱託医(整形外科)評価・診察状況 (単位：人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
人 数	男性	2	2	3	2	5	2		
	女性	2	1	1	4	1	1		
	合計	4	3	4	6	6	3		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
人 数	男性	1	2	1	1	4	3	28	
	女性	0	1	2	0	5	0	18	
	合計	1	3	3	1	9	3	46	

(5) 送迎サービス(シャトルバス)の状況 (単位：人) (※計に含む)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
往路	5	2	4	3	9	2		
復路	6	3	5	3	10	2		
計	11	5	9	6	19	4		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
往路	4	4	4	8	8	4	57	
復路	3	5	3	7	8	4	59	
計	7	9	7	15	16	8	116	

(6) 各種教養・心身向上講座 (単位：人)

開催期間	講座名	受講者数	回数	出席延べ人数
4月～3月	「ボッチャ教室」 ※毎月1回開催 (新型コロナウイルス感染症の状況により時間短縮あり)	15	12	150
8月	サラダうどんを作ろう	6	1	6
1月	アップルパイを作ろう	8	1	8
	合計		14	164

(地域活動支援センター事業)

(1) 営業日数及び利用者数の月別状況 令和5年度年間利用者延べ人数 6,335人
(越谷含む)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
営業日数		20	23	22	21	23	21	22	22	
月間利用者数	実人数	370	416	363	354	375	332	359	362	
	延べ人数	576	576	550	530	539	539	517	517	
一日平均利用者数		18.5	18.1	16.5	16.9	16.3	15.8	16.3	16.5	
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	345	394	348	340	360	313	342	350
		復路	346	392	347	339	358	315	342	350
		計	691	786	695	679	718	628	684	700
	入浴サービス	53	65	53	40	43	38	51	49	
	給食サービス	350	399	341	340	360	305	354	362	
		12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度		
営業日数		21	20	21	21	257	21.4	260		
月間利用者数	実人数	325	308	335	343	4,242		4,488		
	延べ人数	516	493	489	493	6,335	527.9	6,732		
一日平均利用者数		15.5	15.4	16.0	16.3		16.5	17.2		
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	307	289	322	327	4,037	336.4	4,085	
		復路	306	289	322	325	4,031	335.9	4,075	
		計	613	578	644	652	8,068	672.3	8,160	
	入浴サービス	53	44	40	42	571	47.6	485		
	給食サービス	322	303	329	328	4,093	341.0	4,242		

※上記数字は在宅支援を含む実績です。

(2) 在宅支援者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
月間利用者数	実人数	2						
	延べ人数	8						
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
月間利用者数	実人数						2	2
	延べ人数						8	8

※5月より新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、在宅支援の加算は4月末で終了。

(3) 契約者状況 (全 45 名)

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

区分 年齢	区分なし			区分 1			区分 2			区分 3		
	身体	知的	精神									
18 歳～28 歳	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
29 歳～38 歳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 歳～48 歳	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49 歳～58 歳	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
59 歳～65 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	1
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	6	5	1	0	0	0	0	1	3	4	1	3
前年度合計	6	7	1	0	0	0	0	2	3	4	1	3

区分 年齢	区分 4			区分 5			区分 6		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 歳～38 歳	0	2	0	1	0	0	0	0	0
39 歳～48 歳	0	2	0	3	1	0	2	0	0
49 歳～58 歳	0	1	2	0	2	0	0	1	0
59 歳～65 歳	1	0	0	2	1	0	0	0	0
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	5	2	6	4	0	2	1	0
前年度合計	1	5	1	5	4	0	2	2	0

(4) 新規利用者・利用終了者

利用相談者			終了者		
	男	女		男	女
新規相談者	7	7	辞退 (入所・他施設移行等)	1	5
内：未契約数	6	5	死亡	0	0
内：契約数 (新規利用)	1	2	65 歳到達	0	0
合計	7	7	合計	1	5

(5)年間実施行事

実施期間	活動名	内容・備考
4月3日～7日	オリエンテーション	
5月～3月(計30回)	スポーツレク	バドミントン・卓球・テニス・アレンジボッチャ
4月24日～28日 3月25日～29日	曜日対抗レク	ビアポン ダーツボッチャ
5月23日・24日	プランター園芸	プランターに植物の種子や苗を植える
6月2・8・12・21・27日	リクエスト給食	利用者のリクエストの多かった昼食メニューを提供
5月8・19・23・29日 6月1・6・14・16・23 26・30日 7月4・5・12・18日	レイクタウン外出	レイクタウンでの買い物・食事の希望がある利用者と一緒に外出
7月3日～7月7日 2月12日～16日	七夕パフェ バレンタインパフェ	おやつにてパフェの提供 利用者自身にてパフェを作成。おやつとして提供
8月21日・24日～25日	夏祭り	各曜日実施 輪投げ・射的・スカットボール・ストラックアウト・光る人形浮き人形すくい ※景品あり
5月23日～24日(全2回) 8月1日～7日(全5回) 11月17日～22日(全5回) 12月6日～12日(全5回) 3月4日～15日(全5回)	園芸 持ち帰り創作	プランター園芸・アサガオの種まき ① うちわ作り ② 令和6年カレンダー作り ③ 正月飾り ④ オリジナルマグカップ小物入れ
随時	散歩	そうか公園周辺を散歩
1月24日 2月9日 3月1日	外部ゲスト	田中立司様(ギター演奏) 大畑先生(ギター演奏) 橋爪新治様(ピアノ演奏)
12月18日～20日	クリスマス会	・クリスマススペシャルレク ・職員による出し物(余興) ・おやつにケーキ・ポップコーン ジュースを提供
1月8日～12日(全5回)	書初め	書初め・書道展開催

9月1・4・6・14日 (全4回)	バスハイク	さいたま水族館への見学及びキャッセ 羽生での昼食
5月8・22日 6月15・19日 7月3日 9月29日 10月6・27日 11月17日 2月7・21・28日 3月6日	グループワーク	・安全・危機管理について ・(公共交通機関を使った)外出について ・正しいスマホの付き合い方について

(6) ボランティア受入状況

活動内容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア	127	127
スポーツボランティア		
演芸ボランティア		

(軽食喫茶事業)

(1) レストラン利用者状況

令和5年度年間利用者延べ人数 8,082人

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	586	717	741	656	612	686		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
利用者数	650	684	684	650	611	805	8,082	5,808

草加市在宅福祉センター きくの里

I 在宅福祉センター事業

1 指定管理

高年者及び高年者を介護する家族等の福祉の増進を図る施設であるという理念を持って施設の管理運営を行いました。

(1) 介護予防拠点

地域住民がより身近な場所で介護予防に参加できるように、既存の地域活動団体へ働きかけ、介護予防の普及啓発及び介護予防教室の立ち上げ支援を行いました。

また、団体同士が交流を図りながら介護予防の知識や情報を得ることにより、活動の継続及び拡大につながることを支援しました。さらにセンターの施設を活用し、自ら介護予防教室を実施しました。

(2) 地域包括支援センターの支援

地域包括支援体制の構築における中心的役割を担う各圏域の地域包括支援センターを訪問し、事業運営を把握し、各圏域が抱える課題の把握に努めました。

また、地域包括支援センター職員向けの研修会や交流会を開催し、地域包括支援センターの支援を行いました。

(3) 介護事業者・専門職のネットワーク構築、介護の担い手の確保

介護サービス事業所同士の横のつながりを重視しながら、事業所が共に成長し機能強化が図れるように、地域の介護事業所の意向調査や研修会を開催し、総合的に支援しました。さらに、介護の担い手の発掘や担い手の活動場所の発掘、創設に向けた関係機関連携を行いました。

(4) 介護に関する相談、介護等に資する通いの場に係る施設の活用

介護等に資する通いの場に係る施設の活用を促進するよう、地域に開放し、毎朝の「みんなで体操」の実施や地域住民の活動の場として提供しました。また、来館者の相談を傾聴し、適切な関係機関へつなぎました。

2 業務委託(認知症総合支援センター)

認知症高年者が住み慣れた地域で住み続けられるように、認知症に関する本人・家族や認知症高年者に関わる支援者（地域包括支援センター等）を支援しました。

(1) 認知症支援コーディネーターの設置

認知症コーディネーターを配置し、オレンジカフェの立上げ等認知症に関わる事業を実施しました。また、認知症に関する講演依頼を受ける等、関係機関との連絡調整を行い、市内の認知症の支援体制の構築に努めました。

(2) 認知症の相談窓口

主に、地域包括支援センターや医療・介護関係機関の相談に対応しました。また、市民からの認知症に関する相談対応については、若年性認知症の個別相談を

継続して行うとともに、適切な機関につなげる等、関係機関と連携し、支援の検討を行いました。

(3) 認知症予防教室の実施

ファイブ・コグ（認知機能検査）を活用した教室等を開催し、各地域包括支援センターと連携を図りました。

II 居宅介護支援事業

1 居宅介護支援

(1) 利用者からの依頼により、在宅で日常生活を営むために必要な介護保険の居宅サービス等を適切に利用できるよう、利用者や家族の意向を確認するとともに、特定のサービス事業所に偏ることのないよう、公正・中立な立場で居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。

(2) 居宅サービス計画に基づき、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス等が提供されるよう、サービス提供事業者やその他関係者との連絡調整を行い、定期的に、また必要に応じて担当者会議を開催しました。

(3) 利用者が介護保険施設等への入所を要する場合には、介護保険施設等の情報提供その他の便宜を図りました。

(4) 居宅サービス計画の作成後においては、利用者宅への訪問や関係機関との連絡を継続的に行うことにより、利用者の状態やサービスの実施状況を確認、評価し、解決すべき課題の把握と、必要に応じて、居宅サービス計画の変更、事業者等との連絡・調整及びその他の便宜を図りました。

2 感染症対策

(1) 職員及び利用者への感染症の拡大を防止するため、手洗い等の衛生管理に努めました。消毒等の防護に努めるとともに、感染された利用者への支援においては、防護対策を施しながら業務が継続できるようにしました。

(2) 感染の拡大が発生した際に利用者が受ける支援が滞ることのないように、BCPの策定及び感染症予防及び蔓延防止のための指針を整備し感染症対策委員会を設置しました。

3 その他

(1) 市区町村から要介護認定申請に係る調査の依頼を受け、介護支援専門員が介護認定調査員として調査業務を行いました。

(2) 居宅介護支援に関わる市区町村への申請手続を代行しました。

(3) 介護保険の対象となる住宅改修や福祉用具購入等に関わる理由書等の作成の支援を行いました。

III 地域包括支援センター事業

1 包括的支援事業

(1) 総合相談・支援

- ① 個々の高年者がどのような支援が必要かを的確に把握し、適切なサービスの利用に繋げる等の支援を行いました。
 - ② 介護サービス事業者や関係機関、民生委員、町会等、高年者の生活に関わる様々な人々とのネットワークづくり（地域包括支援ネットワークの構築）として、地域資源の共有と顔の見える関係性作りを行いました。
 - ③ 介護についての各種相談に応じるとともに、家族介護者の支援や認知症に関する相談及び認知症予防の普及啓発に関する事業等を行いました。
 - ④ あんしん見守りネットワーク登録事業者や、市からの利用者に関する情報提供があった場合には、速やかに現状を把握し、適切な支援等を行いました。
- (2) 権利擁護
- ① 援助の拒否や多くの課題を抱える等で支援困難な状況にある高年者が、地域において、安心して、尊厳のある生活を送ることができるよう、専門的・継続的な視点から適切なサービスに繋げる支援を行いました。
 - ② 成年後見制度の活用、老人福祉施設等への措置の支援、高年者虐待への対応、支援困難事例への対応、消費者被害の防止等について、諸制度を活用し高年者の生活や権利を守る支援を行いました。また、虐待通報を受け、ケア会議を開催する等、状況改善に努めました。
- (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援
- ① 地域の高年者及びその家族の個別支援における包括的・継続的なケアを実施するために、介護サービス事業者、医療機関等の関係機関及び地域のインフォーマルサービスとの連携体制を構築し、地域における連携・協力体制を整備しました。
 - ② 介護支援専門員に対して交流会を開催し、活発な意見交換とネットワークの構築に努めました。
 - ③ 個別、または圏域における地域ケア会議を開催し、若年性認知症に対する理解と地域課題を一緒に考える機会を持ちました。
また、市で開催する自立支援型地域ケア会議への出席をしました。
- (4) 認知症総合支援
- 認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方が容態に応じて必要な医療・介護等のサービスを受けられるよう、関係機関との連携体制の構築や認知症の方や家族等への相談支援を行いました。
- また、市民が認知症に関する知識を深められよう「虎の巻講座」の開催や専門職に向けた多職種協働研修を開催しました。
- (5) 在宅医療・介護連携及び生活支援体制の整備
- 在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて、事業者交流会を開催し連携の輪を広げました。
- (6) 介護予防ケアマネジメント
- 要介護状態等となることの予防または自立した日常生活の支援を目的とし、高年者の心身の状況、その置かれている環境や状況に応じて、高年者自らの選択に基づき、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、専門的な視点からケ

アプラン作成を行うとともに、その他の介護予防ケアマネジメント事業に関する必要な支援を行いました。

2 一般介護予防事業

地域の高年者世帯への個別訪問、関係機関との連携を通じて状況把握を行い必要に応じて介護予防にかかるホップ教室等の活動へ繋げました。

また、介護予防普及啓発事業を実施する等、介護予防に関する講座の開催等を通じて、住民主体の介護予防活動が円滑に実施できるよう関係者との連携を図りました。

3 指定介護予防ケアマネジメント事業

介護保険法第115条の22の規定に基づく指定介護予防支援事業者として予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができるよう必要な支援を行いました。

4 感染症対策

- (1) 職員及び利用者への感染症の拡大を防止するため、手洗い等の衛生管理に努めました。
- (2) 感染の拡大が発生した際に利用者が受ける支援及び事業が滞ることのないように、BCPの策定及び感染症予防及び蔓延防止のための指針を整備し感染症対策委員会を設置しました。

(在宅福祉センター事業)

1 指定管理

(1) 介護予防拠点

項目	延べ 件数	実人 数
ジャンプ教室訪問	25回	
ジャンプ教室交流会	1回	25人
プレジャンプ教室	3回	
介護予防教室	12回	19人

(2) 地域包括支援センターの支援

項目	延べ 件数	実人 数
地域包括支援センター 訪問	8回	
研修、交流会	2回	28人
長寿支援課との打ち合わせ	8回	
代表者会議	12回	
職種別部会	21回	
地域ケア会議	8回	

(3) 介護事業者・専門職のネットワーク 構築、介護の担い手の確保

項目	延べ 件数	実人 数
既存の介護事業者連絡会と の連携	10回	
介護事業者（意向調査）	6回	
介護事業者向け研修	1回	18人
専門職の把握	4回	10人
関係団体との連携	5回	

(4) 介護に関する相談、介護に資する 通いの場に係る施設の活用

項目	延べ 件数	実人 数
相談件数	20件	20人
貸館	2件	28人

(5) 施設来館者数の月別状況

	来館者数			1日 平均	営業 日数
	男	女	合計		
4月	25	105	130	13.0	10
5月	66	271	337	16.8	20
6月	107	388	495	24.7	20
7月	81	335	416	21.0	20
8月	113	417	530	24.0	22
9月	90	429	519	25.9	20
10月	110	573	683	32.5	21
11月	121	652	773	38.7	20
12月	135	663	798	39.9	20
1月	117	623	740	38.9	19
2月	122	680	802	42.2	19
3月	115	703	818	41.0	20
合計	1,202	5,839	7,041	29.8	231

※令和5年度年間利用者延べ人数 7,041人

2 業務委託

項目	延べ 件数	実人数
相談件数	31件	8人
（うち若年性認知症）	26件	4人
認知症予防教室	24回	259人
関係機関連携（相談等）	5回	
オレンジカフェ（打合せ含む）	14回	49人
オレンジカフェ交流会	1回	15人
認知症サポーター養成講座	1回	10人
認知症ステップアップ講座	1回	23人
ステップアップ修了者交流会	1回	25人
本人ミーティング（市主催）	4回	28人
介護者のつどい	9回	

3 研修報告

6月	認知症の本人とともに、暮らしやすい地域をつくろう！ 令和5年度草加市認知症地域支援推進員研修会 令和5年度在宅医療研修会
7月	認知症の本人と共に考えるこれからの地域づくり 令和5年度埼玉県キャラバン・メイト養成研修 ファイブ・コグ研修
8月	令和5年度ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修会 地域包括ケア職員セミナー 新任ボランティアコーディネーター基礎研修 令和5年度埼玉県ケアラー支援総合事業ケアラー支援関係機関向け研修
9月	新たな体力測定方法 VR認知症 まずは体験してみる～オンライン事前体験会～
10月	企業内人権・同和問題研修会 スーパービジョン研修 ヤングケアラーの理解を深め支援を考える研修会 令和5年度介護予防全体研修会
11月	在宅医療・介護従事者安全セミナー 令和5年度埼玉県重層的支援体制整備事業研修会（座学編） 令和5年度埼玉県家族介護教室支援研修事業 家族介護教室実践研修 草加市社会福祉法人ネットワーク福祉避難所に関する勉強会 若年性認知症自立支援ネットワーク研修
12月	令和5年度第1回草加市権利擁護ネットワーク研修 令和5年度地域包括支援センター初任者研修 認知症介護セミナー
1月	令和5年度埼玉県重層的支援体制整備事業研修会（実践演習） 令和5年度社会福祉ネットワーク福祉避難所開設運営訓練 自立支援型地域ケア会議コーディネーター研修 令和5年度事業所向け自立支援研修 令和5年度認知症地域支援体制全国合同セミナー
2月	家族介護教室実践研修フォローアップ研修 令和5年度企業向け若年性認知症セミナー 令和5年度第7回介護支援専門員レベルアップ研修
3月	認知症基本法オンラインセミナー 令和5年度地域リハビリテーション支援セミナー

(居宅介護支援事業)

(1) 契約者数の推移 (請求数) 令和5年度年間利用者延べ人数1,690人

年度 月	令和5年度			前年度		
	利用者	新規	終了	利用者	新規	終了
4月	133 (1)	8	8	125	3	4
5月	140 (1)	5	6	126	4	3
6月	137 (0)	2	6	126	6	6
7月	139 (2)	10	1	128	7	5
8月	134 (3)	7	6	127	5	6
9月	142 (3)	7	5	135	13	5
10月	146 (4)	8	5	136	7	6
11月	151 (6)	7	3	135	9	10
12月	144 (9)	9	3	134	3	4
1月	143 (9)	5	6	134	5	5
2月	138 (9)	5	3	136	8	6
3月	143 (7)	7	2	135	3	4
合計	1690 (54)	80	54	1577	73	64
月平均	140 (4.5)			131		

※ () は介護予防支援

(2) 要介護度別利用者数 (請求数) (令和6年3月31日現在) (単位:人)

区分	請求人数	
	令和5年度	前年度
要支援	7	0
要介護1	61	61
要介護2	51	45
要介護3	13	19
要介護4	12	14
要介護5	6	6
合計	150	145

(3) 年齢階層別利用者数 (令和6年3月31日現在)

年齢区分	利用者数	
	令和5年度	前年度
～ 64歳	4	3
65歳～69歳	6	5
70歳～74歳	15	11
75歳～79歳	18	19
80歳～84歳	34	30
85歳～89歳	37	35
90歳～	36	42
合計	150	145

(4) 男女別利用者数 (令和6年3月31日現在)

性別	利用者数	
	令和5年度	前年度
男性	49	48
女性	101	97
合計	150	145

(地域包括支援センター事業)

(1) 総合相談支援

区 分		件 数	
		令和5年度	前年度
1 相談件数	電話	4,303件	4,023件
	来所	286件	278件
	訪問	1,328件	1,228件
	合 計 (年間延べ件数)	5,917件	5,529件
2 権利擁護	成年後見制度に関すること	2 (実件数)	9 (実件数)
	高齢者虐待に関すること	16 (実件数)	16 (実件数)
	合 計	18 (実件数)	25 (実件数)
3 介護予防ケ アマネジメン ト	介護予防サービス計画数	1,506件 (請求件数)	1,369件 (請求件数)
	介護予防・生活支援サービス計画数	1,190件 (請求件数)	1,181件 (請求件数)
	合 計	2,696件 (請求件数)	2,550件 (請求件数)
4 包括的・継 続的ケアマネ ジメント	地域包括ケア会議の開催	5回	10回
	事業者交流会の開催	2回	2回
	合 計	7回	12回
	ケアマネジャーからの相談	163件	196件
	介護サービス事業者からの相談	1,321件	1,303件
	合 計	1,484件	1,499件
5 その他	地域包括支援センター会議への参加	12回	12回
	保健師・看護師会議への参加	6回	5回
	主任介護支援専門員会議への参加	5回	3回
	社会福祉士会議への参加	8回	3回
	合 計	31回	23回

(2) 地域活動報告

事業内容	実施回数
介護者のつどい	11回
圏域内地域ケア会議	3回
谷塚中央地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚東部地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚中央地区民生委員意見交換会	1回
谷塚東部地区民生委員意見交換会	1回
谷塚中央地区第二層協議体会議	11回
谷塚東部地区第二層協議体会議	10回
個別地域ケア会議	5回
圏域内ケアマネ交流会	3回
圏域内事業者交流会	3回
認知症サポーター養成講座	1回
谷塚中央・谷塚東部地域ネットワーク会議	1回
出前講座	4回

草加市高年者福祉センター ふれあいの里

I 高年者福祉センター事業

1 各種事業・講座等の実施

高年者の知識・教養の向上を目的とした健康・生活講座、歴史講座や料理教室を開催するとともに、介護予防に特化した事業を開催しました。

さらに、シニアスポーツ「モルック」や懐かしい楽曲に合わせたリズムカルな運動「ハピネスエクササイズ」など、楽しみながら健康づくりを目的とした新規事業を展開しました。

また、世代間交流として「ふれあいジュニア大学」を開催し、保護者参加型の座学教室や運動、工作体験、高年者と一緒に昔遊び等、子供の学ぶ力を育みながら、子供たちが暮らしている地域の方との繋がりを深める機会となりました。

2 世代間交流事業

地域の活性化と地域住民との交流を目的とした世代間交流事業として、夏休みラジオ体操や学習スペースを開放し、子供と高年者が交流する機会となる環境を整えました。

また、谷塚西部地区ブロック7町会や市内団体のご協力をいただき、4年ぶりに「ふれあいの里まつり ～むすぶ つながる 笑顔の輪～」を開催しました。模擬店の他ふれあい企画「にこにこサロン楽楽の事業体験」等、世代を超えて人と人が触れ合う機会となりました。

3 健康相談・生活相談等の実施

看護職員による血圧測定や嘱託医による健康相談を実施し、心身の健康維持や不安解消等の助言に努めました。

また、利用者が抱える様々な悩みや介護等の不安を軽減できるよう専門職員が生活相談を実施し、安心した生活を送れるよう支援しました。

4 すこやかクラブ、サークル活動団体等の利用促進と育成

市や社会福祉協議会等関係機関と連携を図り、すこやかクラブの利用促進に努めました。

また、サークルの活性化を目的にふれあいの里登録サークルの体験・見学会を開催し、同じ趣味を持つ仲間づくりの機会を提供するとともに、活動内容の周知に努めました。

5 貸館事業

高年者の余暇活動の充実と交流等の場を提供するため、高年者やサークル等を対象に、和室・研修室等の貸出を行いました。

また、地域住民等に対しても、交流広場・多目的室等を開放するほか、和室・研修室等の貸出を行いました。

6 施設利用の促進

利用者のニーズに合わせた事業展開を行い、多くの方が利用できるよう市内主要

駅周辺を基本ルートにマイクロバスによる送迎サービスを実施し、施設の利用促進を図りました。

また、利用者や市民からの苦情・要望等を真摯に受け止め、安心・安全で誰もが楽しめる施設利用に努めました。

(高年者福祉センター事業)

- (1) 令和5年度年間利用者延べ人数 42,494人
 (2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9) の合計値

- (2) 健康等相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	87	69	48	46	64	63		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	82	68	35	50	25	38	675	741

- (3) 教養講座等の開催 (単位：回・人)

期間	講座名	回数	参加延人数
4月6日～3月25日	みんなで楽しく頭の体操	46	1,392
4月15日～3月15日	にこにこサロン楽楽	11	160
4月22日	健康講座①「血压について」	1	37
5月10日～3月13日	介護予防啓発事業（共催事業）	10	125
5月25日	体力測定会①	1	24
6月16日～7月14日	ハピネスエクササイズ①	5	92
6月22日	草加野菜でレッツ・クッキング！	1	10
7月18日～8月30日	健幸寿命で自分らしく 介護予防講座①	7	71
7月20日	知って安心講座「～人生のまとめかた考えてみませんか～」	1	24
7月21日～8月28日	夏休み★こどもラジオ体操	39	457
7月21日～8月19日	ふれあいジュニア大学	5	33
9月6日	クラフト教室「和紙を使ったお月見リースを作ろう」	1	10
9月9日～3月20日	折り紙活動～オリカツ～	9	72
9月30日	健康講座②（糖尿病について）	1	15
10月3日～10月24日	シニアスポーツ①「モルックを楽しむ」	4	36
10月6日	草加野菜で本場の中華料理を作ろう	1	10
10月10日～12月5日	一本棒・バッテン棒体操リーダー養成講座（共催事業）	8	196
10月30日～12月13日	健幸寿命で自分らしく 介護予防講座②	6	64

11月1日～11月13日	ふれあいの里サークル体験・見学会	16	87
11月15日	体力測定会②	1	29
11月24日	軍手人形～来年の干支辰を作ろう～	2	30
12月16日～12月13日	いやしの足湯	7	136
12月27日	冬休み！小学生の中華料理教室 ～水餃子を作ろう～	1	9
1月4日～2月1日	ハピネスエクササイズ②	5	75
1月23日	クラフト教室「チャンキーニットでマ ンドゥバッグを作ろう！」	1	8
2月18日	ふれあいの里まつり ～むすぶ つながる 笑顔の輪～	1	500
3月5日～26日	シニアスポーツ②「モルックを 楽しむ」	4	39
3月6日	埼玉を知る！坂東武者の生きざ ま～埼玉の中世文書～	1	27
3月7日	災害時の簡単料理！	1	11
合 計		197	3,779

※他に開放事業として、ラジオ体操（毎朝）・大人のドリル（毎週月曜日）を実施している。

(4) すこやかクラブの利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	8	11	10	14	8	12		
利用者数	110	129	133	137	120	92		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計
区分								
団体数	10	16	9	11	8	15	132	123
利用者数	133	149	129	116	118	132	1,498	1,481

(5) 高年者の送迎サービス状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
往路	239	256	246	297	247	204		
復路	239	256	246	297	247	204		
計	478	512	492	594	494	408		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
往路	251	265	231	213	188	276	2,913	2,938
復路	251	265	231	213	188	276	2,913	2,938
計	502	530	462	426	376	552	5,826	5,876

(6) 浴室利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	0	0	0	0	0	0		
女	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) サークル活動の状況 (令和6年3月31日現在)

サークル名	会員数	活動回数	サークル名	会員数	活動回数
健康アップクラブ	19	21	花みずき	19	48
光友会	10	9	ファイヴステップ	9	48
コーラス風	14	24	フォークダンスクラブ金のくつ	6	9
スピリチュアルヨガ	13	36	芙蓉会	6	10
つくし会	15	18	ふれあいの里健康体操の会	16	24
陶芸友の会	15	38	よさこい新里	10	43
陶芸ロクロの会	12	50	ポピー	15	44
虹のキャンパス	12	23	スイトピーヨガ	21	24
新里将棋同好会	32	353	寺ちゃんギターサークル	7	5
ふでびより	4	3	ギターサークル寺ちゃん	3	3
合計				258	833

(8) 研修室等の利用状況

() 内は団体数 (単位:人)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
研修室 1・2・3		(80) 798	(82) 578	(88) 641	(81) 684	(78) 618	(71) 622	(74) 662
研修室4 調理実習室		(35) 380	(43) 387	(45) 357	(42) 336	(38) 325	(38) 321	(40) 325
音楽室		(37) 59	(32) 58	(23) 35	(34) 52	(20) 55	(32) 54	(36) 55
工芸室		(18) 148	(21) 183	(21) 203	(26) 191	(20) 158	(19) 166	(22) 191
和室 板の間		(10) 61	(12) 70	(11) 65	(12) 66	(7) 45	(10) 60	(11) 65
大集会室		(1) 27	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
小集会室		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
開放施設		1,537	1,576	1,688	1,972	2,294	1,843	1,913
合計		(181) 3,010	(190) 2,852	(188) 2,989	(195) 3,301	(163) 3,495	(170) 3,066	(183) 3,211
区分	月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	
研修室 1・2・3		(88) 714	(81) 629	(73) 585	(64) 567	(78) 596	(938) 7,694	
研修室4 調理実習室		(41) 313	(38) 315	(35) 288	(32) 223	(37) 269	(464) 3,839	
音楽室		(38) 55	(24) 41	(18) 30	(22) 41	(49) 63	(365) 598	
工芸室		(18) 157	(19) 161	(16) 147	(19) 163	(21) 177	(240) 2,045	
和室 板の間		(10) 59	(12) 65	(11) 57	(11) 50	(11) 61	(128) 724	
大集会室		(1) 52	(3) 132	(3) 137	(0) 0	(0) 0	(8) 348	
小集会室		(0) 0	(1) 5	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(1) 5	
開放施設		1,786	1,621	1,676	1,569	1,729	21,204	
合計		(196) 3,136	(178) 2,969	(156) 2,920	(148) 2,613	(196) 2,895	(2,144) 36,457	

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	5	10	12	33	0	2	0	18	2	3	0	0	85

草加市障害者グループホーム ひまわりの郷

I 共同生活援助（グループホーム）事業

1 日常生活支援

- (1) 利用者の嗜好を考慮し、手作りおやつやバラエティに富んだ季節感のある食事を提供し、満足度の向上を図りました。
また、個々の状態に応じた食事形態や盛り付けを工夫することにより、安全に食事が摂れるようにしました。
- (2) 排せつ及び入浴について、利用者個々の能力や身体状況に応じた適切な支援を行いました。
- (3) 身だしなみや清潔さに配慮し、健康的な日常生活が送れるようアルコール消毒の徹底や三密を避けるなど新型コロナウイルス感染予防を講じた支援を行いました。
また、必要に応じて季節毎の衣替えや衣類等の整理・整頓の支援を行いました。
- (4) 衣料品、靴及び日用品等の購入代行の他、ご家族にも参加いただいて訪問販売を行い、充実した生活を送れるよう支援を行いました。

2 相談及び援助

利用者及びその家族等が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、利用者や家族等の相談に応じるとともに、介護保険施設への移行等、適切な助言・援助等を行いました。

3 健康管理、服薬管理及び通院付添等

- (1) 利用者の心身の観察と疾病や感染症の予防等に努めるとともに、日中活動施設等との連携を図り、健康状態の把握に努めました。
また、利用者に対して新型コロナウイルスワクチンやインフルエンザワクチン予防接種の支援を行い、感染予防に努めました。
- (2) 医療機関、家族等と連携し、服薬治療を必要とする利用者が適切に服薬できるよう、個々に合わせた介助及び支援を行いました。
また、通院の必要性がある場合は、早期に受診することで重度化の防止に努め、必要に応じて付き添いの支援を行いました。
- (3) 身体機能の維持・向上及び心身のリフレッシュを目的に、日中活動施設等が休みの日には全体でのラジオ体操や散歩の他、クリスマス会等、季節行事を行いました。

4 家族・日中活動施設等との調整

家族（又はそれに代わる支援者）及び日中活動施設等と連絡を密に取り合い、利用者の状況を的確に把握し、円滑で安定した生活を送れるよう支援しました。

また、家族等に適宜報告及び相談をしながら日中活動施設等との諸手続を行いました。

5 預り金等の財産管理

生活支援上必要な現金等の財産の管理について利用者に代わり家族等から依頼を申し受ける際には、現金の受け渡しや金庫への保管等、適切に取り扱いました。

6 地域交流

地域の行事等へは、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、参加することは出来ませんでした。

7 余暇支援

レクリエーション活動や外出を通して、様々な体験をしながら利用者の心身のリフレッシュを図り、生活訓練の習得を兼ねた支援を行うとともに、行事等、家族の参加を呼びかけ、家族間交流の機会を設け家族等が安心できるよう取り組みました。

また、日中活動施設等が休館の場合は、利用者に洗濯や掃除などの生活に必要な技術の訓練を行い、自立した生活が送れるよう支援を行いました。

8 家族間交流

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、食事会の開催は見合わせましたが、クリスマス会や訪問販売等、家族にも参加していただけるイベントを開催しました。家族会は定期的を開催し、ひまわりの郷の状況等、情報をお伝えするとともに、家族間の情報交換や交流の機会を設けました。

II 短期入所（ショートステイ）事業

1 緊急一時保護

地域生活支援拠点の担い手としての使命を果たすべく、市内の緊急かつ一時的な保護を必要とする障がい者に対して可能な限り受け入れ、短期入所のサービスを実施しました。

また、短期入所の定員のうち1名分は、緊急一時保護のために確保しました。

2 介護の負担軽減（レスパイト）

居宅で障がい者を介護する家族等の負担を軽減するため、短期入所を実施しました。

3 生活訓練

障がい者自身の生活の質を高めるための生活訓練の機会として、サービスを提供しました。

(共同生活介護（グループホーム）事業)

(1) 入居状況（定員 30 人）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
人	男性	21	21	21	20	21	21
	女性	9	9	9	9	9	8
数	合計	30	30	30	29	30	29

月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	男性	21	21	21	21	21	22	252
	女性	8	8	8	8	8	8	101
数	合計	29	29	29	29	29	30	353

令和5年度年間利用者延べ人数 10,767人

(2) 年齢別状況（令和6年3月31日現在）（単位：人）

性別 \ 年齢	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳～	平均年齢
	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	69歳	74歳	
男性	0	2	1	5	8	4	1	0	1	51.2歳
女性	1	1	0	0	3	2	1	0	0	51.0歳
合計	1	3	1	5	11	6	2	0	1	51.4歳

※ 最少年齢 34歳 最高年齢 72歳

(3) 障害支援区分（令和6年3月31日現在）（単位：人）

性別 \ 区分	区分3	区分4	区分5	区分6	計
	男性	3	3	8	8
女性	0	3	2	3	8
合計	3	6	10	11	30

(4) 施設見学受入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人	0	0	0	1	0	0

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	0	0	0	2	0	0	3

(短期入所 (ショートステイ) 事業)

利用状況

(単位：人・日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
区分						
訓練・レスパイト	4	3	5	1	3	4
緊急	0	0	1	0	0	0
合計	4	3	6	1	3	4
延べ利用日数	7	6	26	2	6	9

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分							
訓練・レスパイト	4	3	3	4	4	2	40
緊急	1	1	1	0	1	0	5
合計	5	4	4	4	5	2	45
延べ利用日数	28	24	36	12	19	7	182

令和5年度年間利用者延べ人数 182人

障害者総合支援センター

I 基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援の実施

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障がい者やその保護者及び障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行うとともに、障がい者等に対する虐待の防止とその早期発見のための関係機関との連絡調整を行いました。

2 成年後見制度利用の支援

成年後見制度を利用することが有用であると認められる障がい者及び関係者に、利用に対する助言、情報提供を行いました。

3 地域の相談支援体制強化への取り組み

(1) 市内の相談支援専門員の支援力向上を図るため、相談支援事業所連絡会を年6回実施し、相談支援専門員の困りごとについての支援、地域資源の共有等を行いました。

(2) 複雑・困難なケースへの支援として指定相談支援事業所等の後方支援を実施するとともに、個別支援会議を適宜開催しました。

(3) 地域の相談支援事業者の人材育成支援のため、研修会の企画・運営を行いました。

(4) 地域生活支援拠点等の整備における「体験の機会・場」を円滑に提供できるよう、クラウドシステムを活用した環境整備を行いました。

(5) 地域の福祉サービス事業者、医療機関、民生委員等との連携を図るよう努めました。継続した連携のほか、医療機関や地域包括支援センターからの依頼を受けて連携をする機会がありました。

(6) 障がい者差別解消支援地域協議会への参加、虐待防止センターと虐待に関する情報を共有し対応を検討する等、虐待防止や権利擁護に努めました。

4 特定相談支援事業の実施

(1) 障がい者の様々なニーズを把握するため、基本相談を実施しました。

(2) 利用者本位に立ち、アセスメントを実施し、サービス利用支援を行いました。

(3) サービス計画実施後のモニタリングを行い、継続サービス利用支援を行いました。

5 利用者の生活の質の向上

障がい者とその家族の地域生活を支援するため、多様なニーズへのきめ細やかな対応に努めました。一人ひとりの相談に応じ、それぞれの問題解決に向けて適切な情報提供や助言を行い、関係機関と連携し、必要な障害福祉サービス等に繋げていきました。

また、個別のケースを通じて把握したニーズや課題を自立支援協議会の運営等に活かし、地域生活支援拠点等の運用の動きとともに相談支援体制の整備につながるよう努めました。

なお、自立支援協議会については、これまで本協議会が抱えてきた諸課題の解決に向け、組織の再編や各機能の強化、協議におけるプロセスの明確化等を図るとともに、より有意義な協議会運営の実現に努めました。

創意工夫による柔軟な対応を心がけ、インフォーマルな支援を含め、身近な地域での継続的な関わりができるよう社会資源を活用し、適切な役割分担によりサービスの向上を図りました。

6 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

II 東部障がい者就業・生活支援センター みらい

草加市障害者就労支援センター

1 就労相談

東部障がい者就業・生活支援センターみらい及び草加市障害者就労支援センター(以下「センター」という。)では、利用者又は家族その他支援機関や事業所からの就労及び職場定着に関する相談を行いました。この相談では、障がい特性の把握に関しアセスメントシートの作成を行い、支援の際の適切なツールとして活用しました。

2 アセスメント

基本は、電話予約にてセンターへ訪問していただき、初回面談の際にセンターの説明を行いました。継続的な支援を希望される方は引き続き面談等を通じてアセスメントを行いました。

さらに、基本的な労働習慣や障がいの自己理解などに不足が生ずる場合には、併設の提携施設等の訓練又は埼玉県職業能力開発センターの委託訓練や障害者職業センターの職業評価等を紹介し、様々な訓練を利用しながら状況把握を行いました。

3 就労前支援

利用者及びご家族のための企業見学の提案を行い、利用者の就労意欲の向上と本人の希望の確認等を行い、マッチングを図りました。そのために、様々な職種の職場実習先の開拓や関係機関の訓練を利用しながら、アセスメント兼体験の場及びマッチングの場として活用しました。

4 職場開拓

管轄ハローワークからの事業所情報を基本とし、事業所情報があった場合には、センターの職員が事業所の訪問や見学を行うとともに、事業所の職場環境と仕事内容を確認し、該当する利用者のイメージや障害特性を基にマッチングを図りました。

また、センターの独自開拓や埼玉県障害者雇用総合サポートセンター及び他市の障害者就労支援センター等と連携を図り、地域企業の開拓を行い、情報の共有に努めました。

5 集中支援

就労前や就労開始時期から集中的な支援が必要とされる場合は、ハローワーク、障害者職業センターや埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ派遣依頼、必要に応じて他市の障害者就労支援センターや施設、特別支援学校及びセンターで情報共有を行い、各機関が協力して支援ができるよう連携を図りました。

6 定着支援

就労後から半年程度の定期的な訪問や連絡は、企業と利用者の状況を踏まえて行いました。訪問が不可な場合はZOOM等を活用し、オンラインにて状況の確認を行いました。

また、他市の障害者就労支援センターや施設、特別支援学校、障害者職業センター及び埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ等と連携を図りながら適切な支援を行いました。

定着支援に関しては、利用者の状況を踏まえて支援の頻度を減らしていき、本人が自立して働けるよう支援を行いました。同時に企業に対しては、センターの支援方針を理解いただきながら障害者雇用が円滑に進められ継続できるよう支援しました。

7 地域ネットワークの構築及び活用

草加市障害者就労支援センターとして、地域の就労支援が円滑かつ効果的に行われるよう、草加市障害者就労支援連絡会を開催しました。

また、一般就労している障がい者の方や就労を目指している障がい者の方に対して「在職者交流活動及びピアサポート活動」を定期的で開催し、働くことの基本的な労働習慣を学び、就労のモチベーションが維持できるようグループワーク等で話し合い職場定着の促進に繋げるとともに、障がい者同士の交流の場を提供し、支え合う気持ちをピアという方法で高め合いました。

さらに、東部圏域市就労支援センター連絡会を開催し、みらいを中心とした圏域内の各市障害者就労支援センターとの連携強化を図りました。

8 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

(草加市基幹相談支援センター)

(1) 支援方法 (令和6年3月31日現在) (単位: 件・人)

区 分	件 数	うち発達障害
訪問	515	21
来所相談	178	20
同行	108	12
電話相談	2,227	77
電子メール	289	22
FAX・郵便	19	1
個別支援会議	150	3
関係機関連携	4,424	159
その他	12	0
合 計	7,922	315

(2) 登録者等人数 (令和6年3月31日現在) (単位: 人)

種 別	人 数
登 録 者	571
うち一般相談	320

(3) 登録者等障がい別人数 (令和6年3月31日現在) (単位: 人)

区 分	身 体	知 的	精 神	発達障害	手帳なし	計
登 録 者	58	427	66	3	17	571
	【30】	【212】	【58】	【3】	【17】	【320】
重複障害	24	49	7	0	0	80

【 】内は一般相談

(4) 計画相談 (令和6年3月31日現在) (単位: 人)

種 別	人 数
新 規 計 画	1
モニタリング・継続計画	264
モニタリング	297

(5) 支援内容（令和6年3月31日現在）

（単位：件・人）

区 分	件 数	うち発達障害
① 福祉サービスの利用に関する支援	5,933	281
② 障害や病状に関する支援	735	61
③ 健康・医療に関する支援	699	26
④ 不安の解消・情緒不安定に関する支援	498	7
⑤ 保育・教育に関する支援	25	0
⑥ 家族関係・人間関係に関する支援	753	35
⑦ 家計・経済に関する支援	404	4
⑧ 生活技術に関する支援	51	2
⑨ 就労に関する支援	251	5
⑩ 社会参加・余暇活動に関する支援	66	1
⑪ 権利擁護に関する支援	183	5
⑫ その他	101	0
合 計	9,699	427

（延べ件数）

(6) 関係機関との連携強化の取り組み（令和6年3月31日現在）

①主催

月 日	会 議 名
5月31日	第1回草加市相談支援事業所連絡会
7月21日	第1回自立支援協議会全体会（書面開催）
7月26日	第2回草加市相談支援事業所連絡会
8月8日	第1回相談支援部会
9月27日	第3回草加市相談支援事業所連絡会
11月10日	第2回自立支援協議会全体会
11月29日	第4回草加市相談支援事業所連絡会
1月31日	第5回草加市相談支援事業所連絡会
2月9日	第2回相談支援部会
3月13日	第6回草加市相談支援事業所連絡会
3月15日	第3回自立支援協議会全体会

②他機関開催

4月20日	第3回ひきこもり勉強会
5月22日	第4回ひきこもり勉強会
5月29日	第1回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
6月16日	草加こもりびとサポートネットワーク
7月31日	第2回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会

8月9日	草加こもりびとサポートネットワーク
10月23日	令和5年度草加保健所ひきこもり支援に係る事例検討会
10月30日	第3回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
12月8日	第1回草加市精神保健連絡会
1月29日	第4回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
2月29日	東部ブロック相談支援体制整備検討会議
3月22日	第2回草加市精神保健連絡会

③講演依頼

6月14日	草加精神障がい者家族会そーかれすと 勉強会
2月15日	令和5年度ひきこもりフォーラム

(東部障がい者就業・生活支援センターみらい)

(1) 相談件数 (来所・電話メール等含む)

区 分	身 体	知 的	精 神	その他	計
来所	65	387	297	2	751
電話・E-mail	217	1,738	1,214	11	3,180
職場訪問	41	795	292	0	1,128
家庭・利用施設 への訪問	4	33	5	0	42
その他	0	1	1	0	2
合計	327	2,954	1,809	13	5,103

(2) 登録者等人数 (令和6年3月31日現在) (単位:人)

区 分	人 数
登 録 者	1,347
就 職 者	947

(3) 登録者等障がい別人数 (令和6年3月31日現在) (単位:人)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
登 録 者	117	845	385	1,347
就 職 者	74	651	222	947

(4) 職場実習のあっせん状況 (単位:人)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	2	18	18	38

(5) 一般事業所への就職件数 (*1カ月以上の雇用、A型除く) (単位:人)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	4	47	32	83

(6) 定着率 (1年経過時点、令和5年4月から令和6年3月末までの就職者) (%)

区 分	身 体	知 的	精 神
定着率	80	90	77.4

(草加市障害者就労支援センター)

(1) 相談件数 (来所・電話メール等含む)

区 分	身 体	知 的	精 神	その他	計
来所	5 2	2 4 6	1 9 9	1	4 9 8
電話・E mail	1 4 8	1, 0 1 2	8 2 5	1	1, 9 8 6
職場訪問	3 1	4 4 3	2 1 3	0	6 8 7
家庭・利用施設への訪問	2	2 0	4	0	2 6
その他	0	0	1	0	1
合計	2 3 3	1, 7 2 1	1, 2 4 2	2	3, 1 9 8

(2) 登録者等人数 (令和6年3月31日現在) (単位:人)

区 分	人 数
登 録 者	6 5 7
就 職 者	4 4 4

(3) 登録者等障がい別人数 (令和6年3月31日現在) (単位:人)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
登 録 者	7 5	3 5 7	2 2 5	6 5 7
就 職 者	4 6	2 6 4	1 3 4	4 4 4

(4) 職場実習のあっせん状況 (単位:人)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	2	1 4	1 5	3 1

(5) 一般事業所への就職件数 (*1カ月以上の雇用、A型除く) (単位:人)

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	4	2 9	2 7	6 0

(6) 定着率 (1年経過時点、令和5年4月から令和6年3月末までの就職者) (%)

区 分	身 体	知 的	精 神
定着率	8 8 . 3	9 2 . 9	8 4 . 2

生活介護事業所 そよかぜの森

I 知的障がい者等向けサービス

1 日中活動

利用者の障がい特性や能力に応じ、個々が自分の力を最大限に発揮出来ること及び静かで落ち着いた環境の中で集中して活動に参加出来ることを目的とし、日々の活動に少人数のグループ制を取り入れました。

創作活動や音楽活動の他、個別のニーズに合わせた個別課題を提供し、日々の充実と心の安定を図れるよう支援しました。

また、季節を感じられる行事や壁面装飾等を実施し事業所で楽しめる活動の提供や、社会経験の一環として近隣の飲食店での食事を楽しむ外食プログラムを実施しました。

2 生産活動

利用者個々の能力を評価したうえでグループ編成を実施し、一人ひとりの特性に合わせた作業内容を提供しました。

今年度は作業活動による工賃支給を2回行い、工賃支給日には努力賞として賞状をお渡しし、工賃支給を分かりやすく体感出来るようにしたことで、働いたことの成果とその喜びを一緒に感じる事ができました。

3 健康の維持・増進

日課のラジオ体操、運動プログラムによる筋力・体幹トレーニング及び少人数のグループ制での近隣の散歩等により基礎体力の向上を図りました。また、適宜体力測定を実施し個々の身体能力の評価を行いました。

4 食事サービス

給食委託業者と連携し、徹底した衛生管理・栄養管理の下、安全かつ栄養バランスの取れた食事を提供しました。

また、楽しみや季節感を意識し、メニューを選択できるセレクトメニューの実施や行事食の充実に努めました。

5 送迎サービス

利用者宅を考慮した独自の送迎ルートにより、法人所有の中型バスで草加市内を循環するスポット送迎を実施しました。また、密になりやすい環境に配慮し車内の換気や乗車時の健康確認、アルコールによる手指消毒を実施しました。

II 重症心身障がい者向けサービス

1 日中活動

利用者個々の能力や興味及び障がい特性を考慮した創作活動、講師による音楽療法や季節を感じられる行事の他、ボランティアによるムーブメント活動やミニコンサート、レクリエーション活動を実施しました。

また、スヌーズレンを定期的実施し、視覚・聴覚・触覚等の五感を刺激することで心地よさを得られるリラクゼーション活動を実施しました。

2 身体機能の向上

嘱託医による定期的な診察と、理学療法士・作業療法士による、専門的な理学療法と、その指導の下に計画された機能訓練を実施しました。訓練の実施にあたり、効率的に取り組めるよう訓練のスペースを十分に確保し実施しました。

3 食事サービス

給食委託業者と連携し、栄養バランスの取れた献立により食の楽しみや季節感を感じるとともに、徹底した衛生管理・栄養管理のある給食を提供しました。

また、利用者の障がい特性を考慮して、刻み・ペースト等の加工を行い、個別に対応した食事提供を行いました。

4 送迎サービス

送迎を希望する利用者へ安全に配慮したドア to ドアによる送迎を行いました。

また、定期的にドライバーと会議を実施し、送迎コースや運行時間などの見直しや安全運転に配慮した運行及び添乗職員とドライバーの連携に努めました。

5 入浴サービス

ご自宅での入浴が困難な方を優先として、身体機能に配慮した特殊機械浴槽による入浴サービスを実施し、介護者の負担軽減と身体の衛生保持に努めました。

6 医療的ケア

嘱託医による定期的な診察を行うとともに、主治医からの指示・指導を受け、ご家族の同意の下、看護職員等による喀痰吸引及び経管栄養等の医療的ケアを実施しました。また、介護福祉士による喀痰吸引等の業務においては、安全かつ適正に実施できるよう喀痰吸引業務等安全委員会を年2回実施しました。

III 日中一時支援事業

利用者家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するとともに、家族の緊急時における利用者の一時預かりとして、日中一時支援事業を行いました。

IV 健康管理

嘱託医による定期的な診察の実施と看護職員によるバイタルチェック等から利用者の健康状態を把握し、必要に応じて、電話連絡等による主治医及び関係機関と連携を取り、情報共有と利用者の健康管理に努めました。

なお、新型コロナウイルス感染を含む感染予防に努め、利用時の健康確認を実施するとともに施設内の換気や消毒を徹底しました。また、行政及び嘱託医と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種(5回目、6回目)及びインフルエンザワクチン接種を事業所で接種できるよう支援しました。

V 相談援助

利用者や家族等からの相談に対し、個人面談や電話相談を実施し、必要に応じて関係機関と連携し迅速かつ適切な対応をしました。

また、活動報告会を実施し、家族との交流の機会を設けました。

VI 地域交流

缶つぶし作業による近隣事業所への空き缶回収や換金業者への訪問等、継続して交流ができるよう積極的に取り組みました。

また、実習生を受け入れることで、事業内容や障がい者への理解を深め、誰もが支援者になれる意識を持てるよう取り組むとともに、利用者と実習生が関わることで双方に刺激となるコミュニケーションがとれるよう支援しました。

(生活介護事業)

(1) 利用者入退所状況 (令和6年3月31日現在)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的 障がい者	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在所者	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
重症 心身 障がい者	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	在所者	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	
在所者合計		35	35	35	35	35	35	35	35	35	34	34	34	

※ 前年度末在所者数：35人

※ 令和5年度年間利用者延べ人数：6,773人

(2) 障害支援区分別 (令和6年3月31日現在)

(単位：人)

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均支援区分
知的障がい者	0	2	8	7	17	5.8
重症心身障がい者	0	0	0	17	17	
合計	0	2	8	24	34	

(3) 年齢別分布表 (令和6年3月31日現在)

① 知的障がい者

(単位：人)

性別	年齢	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	合計	平均年齢
		18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳		
男性		0	5	0	4	1	0	10	38.1歳
女性		0	3	3	1	0	0	7	33.2歳
合計		0	8	3	5	1	0	17	36.1歳

※ 最少年齢 25歳 最高年齢 59歳

②重症心身障がい者（令和6年3月31日現在）（単位：人）

年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
性別	19	29	39	49	59		合計	平均 年齢
	歳	歳	歳	歳	歳			
男性	0	7	1	0	0	0	8	26.0歳
女性	0	7	2	0	0	0	9	25.7歳
合計	0	14	3	0	0	0	17	25.8歳

※ 最少年齢 21 歳 最高年齢 39 歳

(4) 送迎サービス・入浴サービス利用実績（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送迎サービス	1,003	1,053	1,161	1,038	1,170	1,046	1,120	1,010	1,032	955	969	1,011	12,568
入浴サービス	72	67	73	59	74	69	69	63	65	47	65	58	781

(5) 医療的ケア実施状況（単位：人）

内 容	人 数	前年度実績
喀痰吸引	7	7
経管栄養	8	7
呼吸器管理	2	2

(6) 主な活動状況

月	内 容
毎 月	・エアロビクス（講師依頼）・運動（筋力トレーニング、卓球、他） ・音楽療法（講師依頼）・歌、楽器演奏 ・園芸 ・作業活動 ・リラクゼーション（散歩、外気浴、足湯、スノーズレン、他） ・アート（創作、絵画、壁面装飾、他）・レクリエーション
4月	訪問理美容（偶数月実施）
6月	保護者会
7月、8月	ウォーターレク
8月	夏祭り
9月	運動会
10月	保護者向け活動報告会
11月	ハロウィンイベント
12月	クリスマス会、クリスマスコンサート

1月	初詣
3月	外食

(7) ボランティア受け入れ状況 (単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
音楽ボランティア	11日	11人
活動ボランティア	10日	10人

(8) 日中一時支援事業利用実績

(単位：日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的障がい者	5	0	0	0	4	1	2	0	0	1	1	0	14
重症心身障がい者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3
合計	5	0	0	1	5	1	2	0	0	2	1	0	17